

平成 28 年度  
教科・領域教育専攻社会系コース  
試験問題表紙

解答上の注意

1. 表紙 1 枚・問題用紙 3 枚・解答用紙 7 枚あるかどうかを確認すること。ただし解答用紙は、

社会科教育の分野用	2 枚
歴史の分野用	2 枚
地理の分野用	1 枚
公民の分野用	2 枚

で構成されている。
2. 社会科教育・歴史・地理・公民の 4 分野から一つを選択し、それぞれの指示に従って解答すること。
3. 解答用紙 1 枚目の選択受験分野表の分野欄に、選択した 1 分野を○で示すこと。
4. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を記入すること。
5. 選択しなかった分野の解答用紙には用紙全面に「**X**」を大書すること。
6. 解答が解答用紙の表面に書ききれない場合は、裏面に続けて記入すること。
7. 試験終了後は解答用紙のみを回収するので、解答用紙以外は試験問題表紙を含め持ち帰ること。

**[社会科教育の分野]** 次の2題の全てに解答せよ。

問題 1

社会科教育では、教室の外に出て「観察」や「フィールドワーク」を行う機会がある。「観察」や「フィールドワーク」は社会的事象に対する「直接経験」に他ならず、事象に関する諸資料から得られる「間接経験」とは異なった教育的効果が期待される。

社会科教育において「観察」や「フィールドワーク」を取り入れることのメリットとデメリットを指摘したうえで、「直接経験」を重視する社会科教育論に対するあなたの見解を述べよ。

問題 2

次の文章を読んで以下の問いに答えよ。

著作権の関係により掲載いたしません

社会科や地理歴史・公民科で、上述の「思考力」のうち、「メタ認知」する能力を育成するには、どのような授業を実践することが有効だと考えるか。中学校社会科または高等学校地理歴史科・公民科から任意の主題を設定し、何をどのように教授学習するのかが分かるように、授業展開を具体的に説明せよ。

**[歴史の分野]**

次の4題より2題を選んで解答せよ(各問題に1枚の解答用紙を用い、解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入すること)。

問題 1

室町文化の特徴をあげるならば、一つは大陸からもたらされた禅の影響であり、もう一つは庶民の台頭による、庶民文芸の発展であろう。下記の用語をすべて使用し、室町文化を説明せよ。

語群： 北山文化 東山文化 御伽草子 寄合

問題 2

近世日本における山野と人との関係およびその変化について、次の語句をすべて使用して論ぜよ。

語群： 刈敷 牛馬 山論 新開 はげ山 植林

問題 3

次の語句のうち二つ選択し、それぞれの内容と歴史的意義について論ぜよ。

- (1) スペイン内戦
- (2) 文化闘争
- (3) 百年戦争
- (4) 68年運動

問題 4

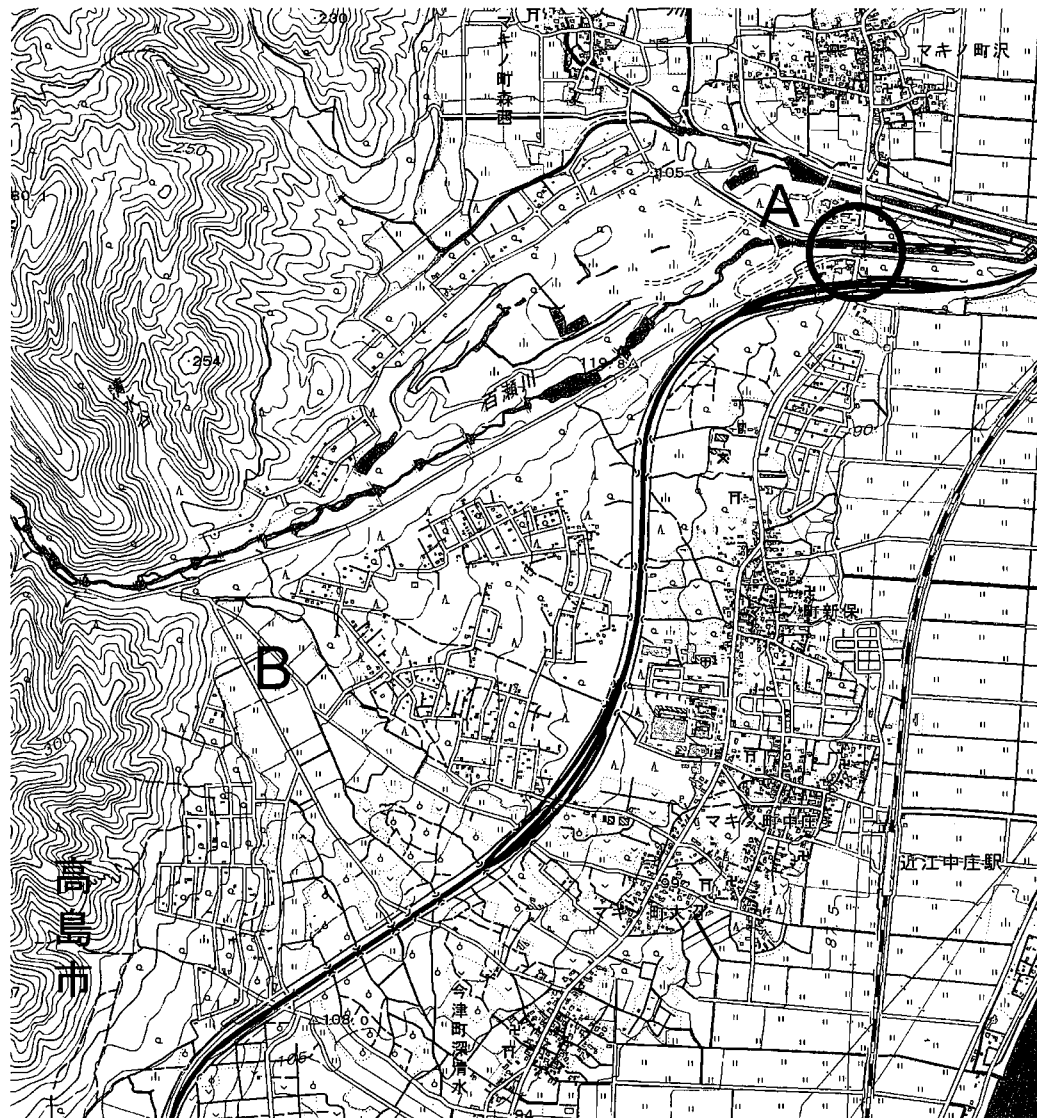
近年の世界史研究では「グローバル・ヒストリー」が注目されている。この歴史研究の新しい潮流について、その研究方法上の特徴と意義を論ぜよ。

**[地理の分野]** 次の2題の全てに解答せよ。

問題 1

下の図は、1/25000 地形図「海津」の一部を示したものである（電子地形図 25000 を利用。115%に拡大。加筆）。この図を見て、以下の問(1)～(3)に答えよ。

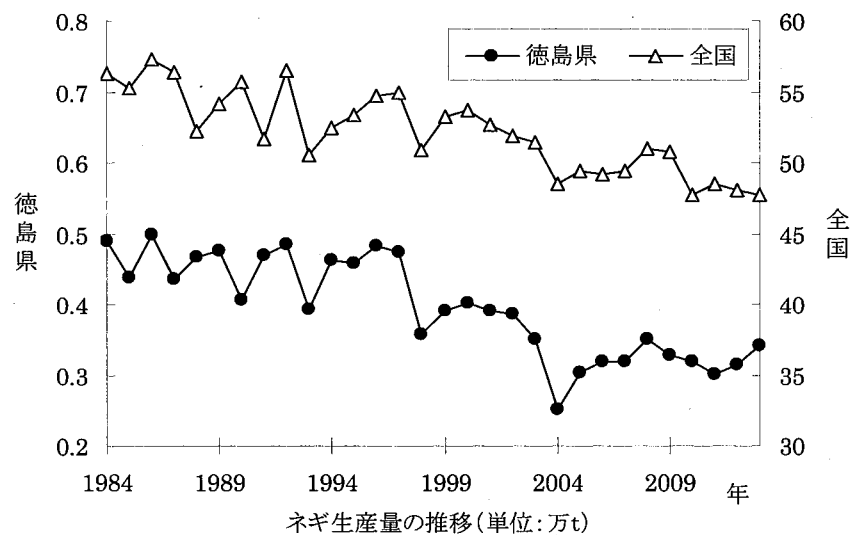
- (1) 地図中に広がる地形の名称とその形成過程について説明せよ。
- (2) 図中のAの円内に形成された現象の名称とその形成過程について説明せよ。
- (3) 図中の地形の状況から考えて、Bの周辺の土地利用は、どのように形成されたと考えられるか説明せよ。



問題 2

下記の4題より2題を選択し解答せよ（解答欄には選択した問題の記号も明記すること）。

- A いわゆる「限界集落」について説明し、同地域の課題について述べよ。
- B 促成栽培と抑制栽培の違いについて説明せよ。
- C 右図は1984年から2013年にいたる日本および徳島県のネギの生産量の推移を示したものである（農水省「野菜生産出荷統計」による）。このグラフを説明せよ。
- D 近代国家では国民意識を高揚するために地図が使われてきた。近年の日本における事例を具体的に述べよ。



[公民の分野]

次の8題より2題を選んで解答せよ(各問題に1枚の解答用紙を用い、解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入すること)。

問題 1

「政府の憲法解釈をめぐる内閣法制局の統制」という制度について、憲法上その根拠条文は存在しないにもかかわらず、学説ではその正当性が広く認められている。なぜこのような制度が必要とされてきたのか論ぜよ。

問題 2

日本人の父と外国人の母が結婚し、その後子どもが日本国外で生まれた場合、子どもの出生から3か月以内にその出生を在外日本大使館又は日本の市町村役場に届け出ないと日本国籍を喪失する規定がある(国籍法12条)。当該規定が、日本で出生した者との区別において憲法14条1項に違反し無効であるという訴訟で、最高裁は合憲との判断を下した(最小判2015年3月10日)。この判決について、「憲法14条1項後段列举事由の意味」という観点から論評せよ。

問題 3

2015年6月17日に財務省が発表した5月貿易統計速報によると、貿易収支(原数値)は2160億円の赤字となった。2か月連続で赤字となったが、赤字幅は前年同月の9172億円に比べ大幅に縮小した。輸出は9か月連続で増加したが、輸入は5か月連続で減少している。

- (1)2015年5月の貿易収支が前年同月に比べ大幅に縮小した理由を書け。
- (2)日本の貿易収支は3月に2年9か月ぶりに黒字に転じたが、4月に再び558億円赤字となり5月にはさらに赤字額が拡大した。輸出が増加して輸入が減少しているにもかかわらず貿易収支の赤字額が拡大した理由について、あなたの考えを書け。

問題 4

総務省労働力調査によると、2014年の非正規雇用労働者の割合は37.4%で労働者全体の約3人に1人が非正規雇用労働者となっている。雇用者に占める男女・雇用形態別割合をみると、非正規雇用の約7割を女性が占めているが、男女とも非正規雇用の割合が上昇している。

- (1)女性が非正規雇用の割合が高い理由を書け。
- (2)男女とも非正規雇用の割合が上昇している理由を書け。

問題 5

北宋の四子(周濂溪・程明道・程伊川・張横渠)から南宋の朱子に至るまでの儒教の展開を概観せよ。

問題 6

右の文章を書き下し文にするか、もしくは口語訳せよ。

問題 7

E.デュルケームに基づき自殺について論述せよ。

問題 8

M.ウェーバーに基づき官僚制について論述せよ。

孟子曰。仁之實。事親是也。義之實。從兄是也。用至廣。而其實不越於事親。從兄之間。蓋良心之發。最為切近。而精實者。有子。其意亦猶此也。智之實。知斯二者。弗去是也。禮之實。節文斯二者。是也。樂之實。樂斯二者。樂則生矣。生則惡可已也。惡可已。則不知足之蹈之。手之舞之。樂斯。樂則之樂。音者。指事親。從兄而言。知而弗去。則見之明。而守之固矣。節文。謂品節文章。樂則生矣。謂和順。從容。無所勉強。事親。從兄之意。油然而生。如草木之有生意也。既有生意。則其暢茂。條達。自有不可遏者。所謂惡可已也。其又盛。則至於手足。蹈而不自知矣。○此章言事親。從兄。良心真切。天下之道。皆原於此。然必知之明。而守之固。然後節之密。而樂之深也。

瀧川龜太郎・原田種成  
『纂標孟子集註全 増注版』松雲書院